

泌尿器科のかかりつけ医

神楽岡泌尿器科 渋谷 秋彦 院長

御にも注意してお過ごしただきたいと思ひます。

子どもさんの成長における期間は、大人と比べて濃密で短いものです。あつという間にお子さんは成長していきますね？ 大人が簡単に3年なんていいますが、中学高校含めてお子さんたちにとっての3年は、とっても中身の濃い多くの情報を含んでいたと思います。この遅れてしまった情報栄養の吸収を、これから頑張りたい欲しいと思つています。

3年にもわたるコロナ禍、大変な毎日が続いていますね。重症化する方々も少なくなり、諸々の制限がどんどん緩和されてきていますが、皆様お身体に気をつけて、感染防

はお子さんを見察する際は、一度マスクを取って自分の面をさらしてあいさつしてから、あらためてマスクをつけてお話を聞いたり触らせてもらったりするんです。病院では怖いことをされそうだし、医者の方先生は怖そうですものね。

コロナやインフルエンザなどの感染も怖いものですが、冬の乾燥、脱水もまた病気の原因となりま

す。泌尿器科でもお子さんが来られることは皆さんの想像以上に多く、親御さんも心配なことだと思います。今回は子どもさんの泌尿器科の問題についてお話しします。

1・頻尿、残尿感

お年寄りの方だけでなく、若い方でもこの症状で悩ん



害が起こり、同様の症状が出るのです。しっかりと水分補給をして、黄色い濃い尿ではなく、色の薄い透き通った尿をいさまずにリラックスして、気持ちいいオシッコを

どうかが自分で分かるようになるからです。

す。自分で(痛みの加減が分かるからです)包皮をちよつとずつ剥いてみて、亀頭の頭を出します。

身体を洗った後、一緒にシャワーをかけてあげようと説明します。子どもさん

でも、自分の身体を把握してチェックする習慣をつけて欲しいと思ひます。そうすれば、異常か

3・夜尿症

おねじですが、小学校入学前になくなればよいです。親御さんご心配される代表的な子ども

の病態ですが、時期が来ると収まるものです。

オシッコは気持ちよく!



2つに大よやくされま

ります。日中に十分、水分補給をすること(感染防御にもなりますよ)、晩御飯のあとは控えること、オシッコは十分に溜まってるから気持ちいいと感じてすることです。自然に膀胱容量が増え、夜間の口渇感がなくなりま

小児ガンや奇形、諸々の機能異常など、お子さんにも難病はみられるものですが、成長期の病気は意外と少ないものです。生活習慣をうまくすることで、ほとんどのお子さんは問題なく成長していくと思ひます。苦痛や不安なく、楽しい毎日を送って立派な大人になってほしいですね。あまり人に聞きづらいオシッコの症状は、専門の泌尿器科の先生に相談してくださいね。

2・亀頭包皮

男の子限定ですが、おちんちんが腫れて痛い訴えます。

包皮が原因で、亀頭と包皮の間に雑菌が繁殖すること、炎症(ただれ)を引き起こします。包皮自体は大変な病気ではなく、大人になつてから対処できるものなのですが、包皮は男の子にとって不安

ストレスの要因となりますので、ちゃんとおちんちんの清潔管理をさせることが重要となります。無理な剥き剥きや石鹸を付けてのごしごしは痛みを伴うので、やめましょうね。プールのあとの目の洗浄と同じとお話ししま

■聞きづらいオシッコの症状は専門医に相談■

い。

渋谷 秋彦 ●しゅば あきひこ 1961年、旭川生まれ。1980年道立旭川東高等学校卒、1988年札幌医科大学卒業。札幌医科大学付属病院、砂川市立病院、北見赤十字病院勤務などを経て2003年11月に旭川市神楽岡に「神楽岡泌尿器科」開院。日本泌尿器科学会(専門医)、老年泌尿器科学会、日本泌尿器内視鏡学会所属。著書に「気持ちいいオシッコのすすめ」(現代書林刊)。